

高知県感染症発生動向調査（週報）

2017年 第4週（1月23日～1月29日）

★お知らせ

○インフルエンザに気を付けて！

高知県全域で警報値である30.0を超えています。

定点医療機関当たりの報告数は第3週の28.75から第4週では39.94と増加しています。

幡多以外の地域で増加し、県全域と高知市、中央西、幡多、中央東、安芸では警報値を超え、須崎では注意報値を超えています。迅速検査ではインフルエンザA型が99.1%、B型0.9%となっています。

病原体検出情報では第4週に搬入された検体で、高知市、須崎からInfluenza virus A H3 NTが計4件検出されています。

学校等における集団発生の報告でも休校や学年、学級閉鎖の報告が増加しています。

全国でも定点医療機関当たりの報告数が第2週の15.25から第3週では28.66と引き続き増加しているために注意が必要です。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況は、直近の5週間（2016年第51～3週）ではAH3亜型の検出割合が最も多く93.5%、次いでB（ビクトリア系統）が3.11%、AH1pdm09が1.98%、B（山形系統）1.41%の順でした。

インフルエンザの流行期に入っていますので、外出後の手洗いなどの感染予防を心がけましょう。症状がある方は咳エチケットを心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。また、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人ごみを避けるなどの対策も感染予防には有効です。

高知県の保健所別の定点当たり報告数と警報・注意報レベル状況（2017年第4週）

	今週		1週前		2週前		3週前		4週前		5週前	
	第4週		第3週		第2週		第1週		第52週		第51週	
	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況
高知県全域	39.94	△	28.75	○	14.25	○	10.21	○	7.08	-	4.42	-
安芸	32.00	△	21.00	○	12.00	○	3.75	-	3.50	-	1.75	-
中央東	36.27	△	24.91	○	8.73	-	8.91	-	3.64	-	1.18	-
高知市	48.88	△	31.00	△	20.56	○	12.81	○	9.63	-	8.06	-
中央西	40.80	△	28.40	○	13.20	○	14.20	○	10.80	○	4.60	-
須崎	21.75	○	13.50	○	9.00	-	11.25	○	7.75	-	2.75	-
幡多	39.63	△	41.25	△	13.63	○	7.00	-	5.88	-	3.63	-

注意報値：○（10以上30未満） 警報値：△（30以上）

学校等における集団発生

※感染症情報収集システム

保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多
休校	第4週	2	0	0	0	0	0
	累計	3	0	0	0	1	1
学年閉鎖	第4週	2	1	1	2	1	5
	累計	5	2	5	2	2	7
学級閉鎖	第4週	0	1	12	0	0	1
	累計	1	1	18	0	0	1

インフルエンザの飛沫感染対策【咳エチケット】

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- （1）普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- （2）咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- （3）手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。

■ 飛沫感染対策ではマスクは重要です。特に感染者がマスクをすることが、感染の拡散を抑える効果が高いと言われています。

- 厚生労働省 「平成28年度今冬のインフルエンザ総合対策について」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

- 厚生労働省 「平成28年度インフルエンザ Q&A」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/qa.html>

○百日咳に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第3週の0.00から第4週では0.03です。中央西で増加し、中央西では注意報値を超えています。

百日咳は、百日咳菌による感染症です。患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌によって感染します。通常7～10日間程度の潜伏期を経て、普通のかぜ症状で始まり、次第に咳が多くなり程度も激しくなる事と、痰が出る事が特徴です。その後、激しい咳は2～3週間かけて徐々に治まりますが、時折、発作性の咳がみられます。

百日咳は、感染力が強く、咳の開始から約3週間は菌の排出があるため、注意が必要です。

特に生後6ヶ月未満の乳児では無呼吸発作等、重篤になる場合もあるので、予防接種をしていない新生児、乳児がいる場合は特に感染に対する注意が必要です。

予防対策は予防接種、うがい、手洗い、咳エチケットです。

感染予防のためにワクチン接種をお勧めします。ワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第3週の8.70から第4週では7.43と横ばいです。県全域から報告があり、須崎で増加しています。

病原体検出情報では臨床診断名:感染性胃腸炎として第3週に搬入された検体で、幡多から Rotavirus group A G9 が1件検出され、第4週に搬入された検体で、高知市、須崎から Norovirus GII NT が計3件、中央東から Sapovirus genogroup unknown が1件検出されています。

定点医療機関からのホット情報でノロウイルス7例、カンピロバクター+病原性大腸菌O-86a 腸炎1例の報告があり、感染性胃腸炎の流行は続いているとの報告もあります。また、感染症情報収集システム※でも64例の報告があることから、今後も引き続き注意が必要です。

ノロウイルスなどのウイルスを原因とする感染性胃腸炎は嘔吐、下痢が主症状ですが、その他、発熱、腹痛などの症状があります。特に、乳幼児や高齢者、体力の低下している方は、下痢、嘔吐などで脱水症状を起こすことがありますので、早めに医療機関を受診してください。通常は1週間以内に回復しますが、症状消失後も1週間程度、長いときには1ヶ月程度ウイルスの排出が続くことがあります。

特にノロウイルスを原因とする場合、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。

予防には手洗いが有効です。帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、マスクや使い捨ての手袋を着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用方法を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。調理をする場合には、十分に加熱しましょう。

- 厚生労働省 「ノロウイルスに関する Q&A」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

- 厚生労働省 「ノロウイルス等の食中毒予防のための適切な手洗い（動画）」

<https://www.youtube.com/watch?v=z7ifN95YVdM&feature=youtu.be>

- 衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第3週の1.60から第4週では1.43と横ばいです。中央西、中央東、幡多で増加しています。

定点医療機関からのホット情報で9例の報告があり、感染症情報収集システム※でも14例の報告があることから、引き続き注意が必要です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる飛まつ感染、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染が主な感染経路です。

乳幼児では咽頭炎、年長児や成人、特に妊婦では扁桃炎が現れ重症化することもあるため、うがい、手洗いなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○マイコプラズマ肺炎に気を付けて！

基幹定点当たりの報告数は第3週の0.63から第4週では0.50と減少しています。

定点医療機関からのホット情報では10例の報告があり、感染症情報収集システム※でも16例の報告があるなど報告数の多い状態であることから、引き続き注意が必要です。

感染経路は患者の咳のしぶきを吸いこんだり、患者と身近で接触したりすることにより感染すると言われています。保育園や幼稚園、学校、あるいは家庭内等での伝播がみられます。

予防対策としては、手洗いと咳エチケットです。

※ 感染症情報収集システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム

☆ダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS・つつが虫病）に注意！

日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）は比較的大型（吸血前で3～4mm）のマダニが、つつが虫病はツツガムシというわずか0.3mmほどのダニの幼虫が媒介する感染症です。

すべての、マダニやツツガムシが病原体を持っているわけではありませんが、これらのダニに咬まれないようにすることが感染の予防になりますので引き続き、注意が必要です。予防するためのワクチン等はありません。

マダニやツツガムシは野外に生息しています。野山や畑、草むらなどに出かけるときは十分注意しましょう。長袖・長ズボンを着用し、シャツの裾はズボンの中に入れ、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる等、肌の露出を少なくし、ダニ用の忌避剤を使用する等して、ダニに咬まれないようにしましょう。

昨年1月にはSFTSの患者報告もありました。冬場でも注意してください。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

- 高知県衛生研究所 マダニによる感染症の注意喚起パンフレットを作成しました。

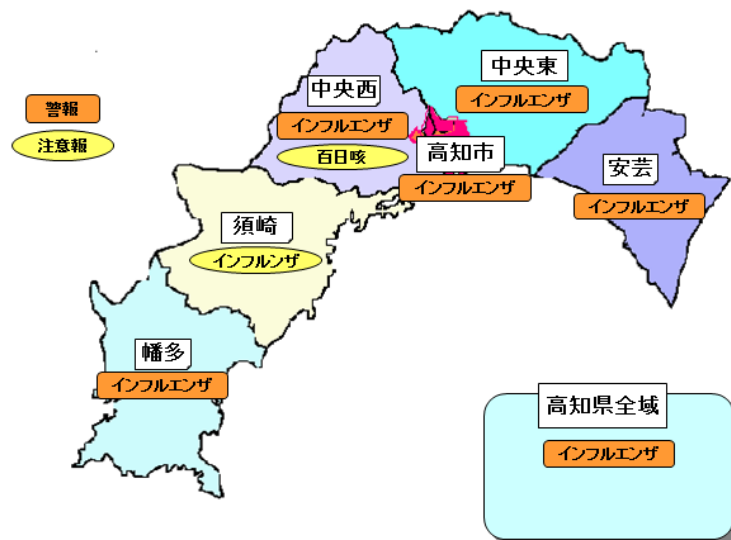
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2016061300063.html>

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減
 4週（1月23日～1月29日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	↗	39.94	幡多以外の地域で増加しています。 県全域と高知市、中央西、幡多、中央東、安芸では警報値を超え、須崎では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	→	7.43	須崎で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	1.43	中央西、中央東、幡多で増加しています。
水痘	↗	0.43	中央西、幡多で増加しています。
RSウイルス感染症	↓	0.33	安芸で増加しています。

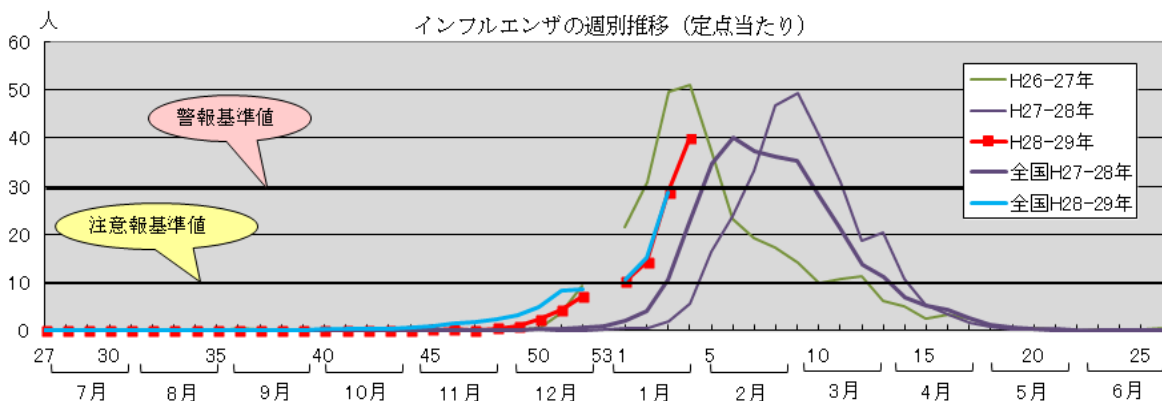
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

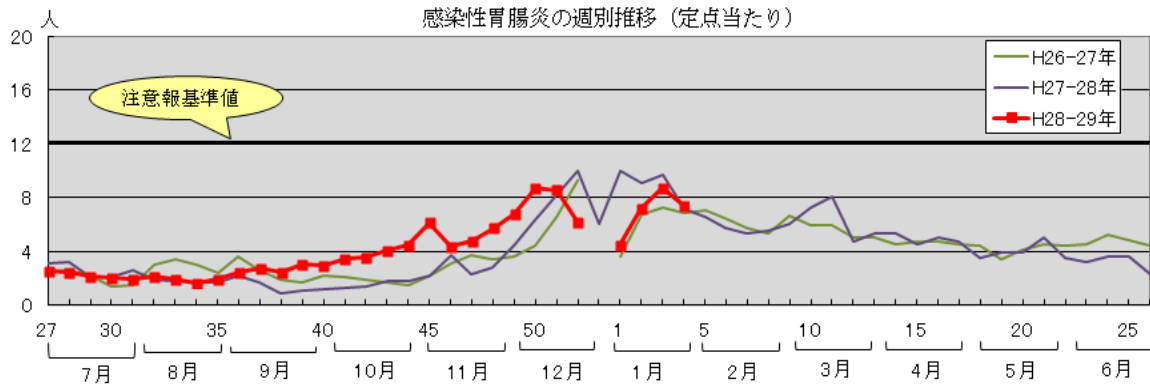
○インフルエンザ 第4週：39.94（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 39.94（前週：28.75）と増加しています。幡多以外の地域で増加し、県全域と高知市 48.88（前週：31.00）、中央西 40.80（前週：28.40）、幡多 39.63（前週：41.25）、中央東 36.27（前週：24.91）、安芸 32.00（前週：21.00）では警報値を超え、須崎 21.75（前週：13.50）では注意報値を超えています。



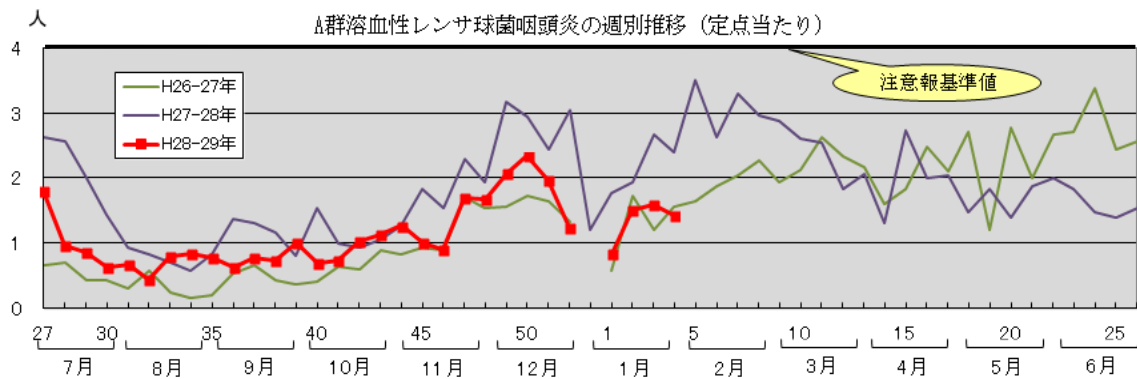
○感染性胃腸炎 第4週：7.43（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 7.43（前週：8.70）と横ばいです。須崎 7.00（前週：3.50）で増加しています。



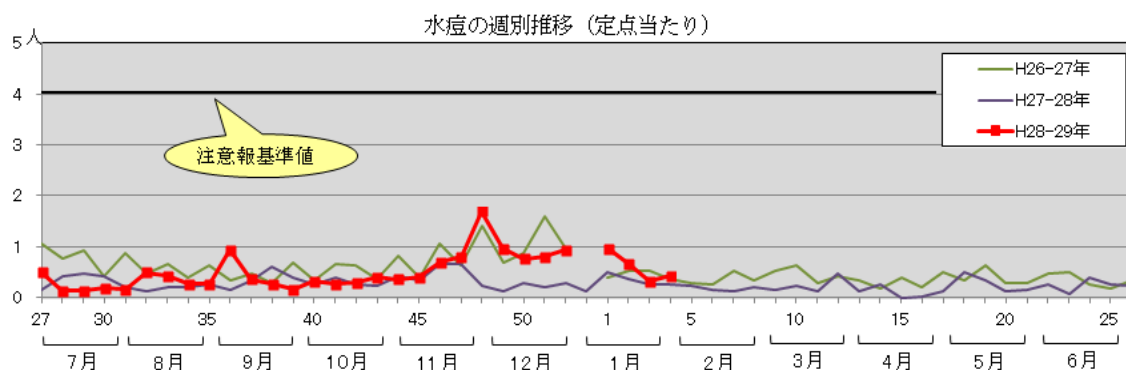
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 第4週：1.43（注意報値：4.00 警報値：8.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 1.43（前週：1.60）と横ばいです。中央西 2.67（前週：1.67）、中央東 1.00（前週：0.71）、幡多 0.80（前週：0.60）で増加しています。



○水痘 第4週：0.43（注意報値：4.00 警報値：7.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.43（前週：0.33）と増加しています。中央西 0.67（前週：0.00）、幡多 0.60（前週：0.00）で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、グラフ横軸に第53週を挿入しています。

そのため、H26-H27年とH28-H29年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
4	インフルエンザ	10	男	高知市	Influenza virus A H3 NT
4	インフルエンザ	52	男	須崎	Influenza virus A H3 NT
4	インフルエンザ	13	女	須崎	Influenza virus A H3 NT
4	インフルエンザ	13	女	須崎	Influenza virus A H3 NT
4	感染性胃腸炎	1	男	高知市	Norovirus GII NT
4	感染性胃腸炎	6	女	須崎	Norovirus GII NT
4	感染性胃腸炎	2	男	須崎	Norovirus GII NT
4	感染性胃腸炎	1	男	中央東	Sapovirus genogroup unknown

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
3	感染性胃腸炎	9	男	幡多	Rotavirus group A G9

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	4	60歳代男	中央東
	結核	1	5	90歳代男	中央西

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	あけぼのクリニック	インフルエンザ A 61 例
		RS ウイルス感染症 2 例 (0 歳 2 人)
	野市中央病院小児科	A 型インフルエンザ 10 例 (1 歳女: ワクチン未、4 歳女: ワクチン済、6 歳女: ワクチン済、8 歳男: ワクチン未、9 歳男: ワクチン未、11 歳女: ワクチン未、12 歳女 2 人: ワクチン未、13 歳男: ワクチン済、14 歳男: ワクチン未)
	早明浦病院小児科	溶連菌感染症 7 例 (5 歳、7 歳 2 人、8 歳、10 歳から 13 歳 3 人) 7 人中再発 2 人 (本山町) うち 7 歳再発例はアナフィラクトイド紫斑病併発 インフルエンザ 13 例 (2 歳から 15 歳)
高知市	けら小児科・アレルギー科	カンピロバクター+病原性大腸菌 O-86a 腸炎 1 例 (5 歳女)
		マイコプラズマ肺炎 4 例 (2 歳、6 歳、7 歳、36 歳)
	高知医療センター小児科	RS ウイルス感染症 1 例 (5 ヶ月男)
	三愛病院小児科	インフルエンザウイルス 3 例 (4 歳女、7 歳女、8 歳女)
	福井小児科・内科・循環器科	マイコプラズマ肺炎 3 例 (4 歳男、8 歳男、9 歳女)
		インフルエンザ A 型 53 例、B 型 0 例、ワクチン接種済 15 例 インフルエンザ A 型と溶連菌感染症の同時感染 1 例 (3 歳男) 感染性胃腸炎の流行は続いている。
	ふないキッズクリニック	1 歳女児感染性胃腸炎はノロ迅速検査陽性
細木病院小児科	ノロ 6 例 (1 歳男 2 人女 2 人、2 歳女 2 人)	
中央西	石黒小児科	ヘルペス性歯肉口内炎 1 例 (3 歳男)
	くぼたこどもクリニック	溶連菌 1 例 (5 歳女: 須崎市)
		マイコプラズマ肺炎・インフルエンザ A 1 例 (8 歳女) 他院で
日高クリニック	マイコプラズマ気管支炎 1 例 (37 歳女)	
須 崎	もりはた小児科	インフルエンザ 37 例 全例 A 型
		マイコプラズマ肺炎 1 例 (4 歳女)
幡 多	さたけ小児科	インフルエンザ 95 例 全て A 型
	幡多けんみん病院小児科	hMPV 陽性 1 例 (9 歳男)

★全国情報

第 2 号 (1 月 9 日~1 月 15 日)

1 類感染症: 報告なし

2 類感染症: 結核 302 例

3 類感染症: 細菌性赤痢 3 例、腸管出血性大腸菌感染症 10 例

4 類感染症: E 型肝炎 7 例、A 型肝炎 1 例、つつが虫病 7 例、デング熱 4 例、レジオネラ症 11 例

5 類感染症: アメーバ赤痢 15 例、ウイルス性肝炎 2 例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 12 例、急性脳炎 8 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 8 例、後天性免疫不全症候群 14 例、侵襲性インフルエンザ菌感染症 7 例、侵襲性肺炎球菌感染症 57 例、水痘 (入院例に限る) 3 例、梅毒 50 例、播種性クリプトコックス症 1 例、破傷風 1 例、風しん 1 例、麻しん 2 例

報告遅れ: E 型肝炎 4 例、つつが虫病 1 例、デング熱 1 例、日本紅斑熱 2 例、レジオネラ症 12 例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 14 例、急性脳炎 9 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 4 例、水痘 (入院例に限る) 4 例、梅毒 33 例、播種性クリプトコックス症 2 例、麻しん 2 例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第4週 平成29年1月23日(月)～平成29年1月29日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(3週)	高知県(4週末累計) H29/1/2～H29/1/29	全国(3週末累計) H29/1/2～H29/1/22
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多					
小児科	インフルエンザ	128	399	782	204	87	317	1,917 (39.94)	1,380 (28.75)	142,144 (28.66)	4,471 (93.15)	270,099 (54.57)
	咽頭結膜熱		1	1				2 (0.07)	2 (0.07)	950 (0.30)	14 (0.47)	2,840 (0.90)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		7	19	8	5	4	43 (1.43)	48 (1.60)	6,282 (1.99)	161 (5.37)	14,206 (4.50)
	感染性胃腸炎	9	55	90	25	14	30	223 (7.43)	261 (8.70)	22,140 (7.00)	835 (27.83)	59,450 (18.83)
	水痘		5	3	2		3	13 (0.43)	10 (0.33)	1,101 (0.35)	72 (2.40)	4,267 (1.35)
	手足口病			2				2 (0.07)	4 (0.13)	681 (0.22)	10 (0.33)	1,644 (0.52)
	伝染性紅斑		2	3				5 (0.17)	10 (0.33)	353 (0.11)	21 (0.70)	930 (0.29)
	突発性発疹		2	3	1	1		7 (0.23)	5 (0.17)	1,299 (0.41)	29 (0.97)	3,337 (1.06)
	百日咳				1			1 (0.03)	()	31 (0.01)	4 (0.13)	67 (0.02)
	ヘルパンギーナ							()	()	87 (0.03)	()	271 (0.09)
	流行性耳下腺炎		3	4			1	8 (0.27)	9 (0.30)	1,873 (0.59)	33 (1.10)	7,196 (2.28)
	RSウイルス感染症	3	2	3			2	10 (0.33)	25 (0.83)	1,215 (0.38)	82 (2.73)	3,801 (1.20)
	眼科	急性出血性結膜炎						()	()	9 (0.01)	()	25 (0.04)
		流行性角結膜炎						()	3 (1.00)	378 (0.55)	4 (1.33)	1,190 (1.72)
基幹	細菌性髄膜炎						()	()	8 (0.02)	1 (0.13)	24 (0.05)	
	無菌性髄膜炎						()	()	16 (0.03)	()	45 (0.09)	
	マイコプラズマ肺炎		1	3			4 (0.50)	5 (0.63)	293 (0.62)	20 (2.50)	959 (2.02)	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			1			1 (0.13)	1 (0.13)	7 (0.01)	2 (0.25)	20 (0.04)	
	感染性胃腸炎						()	1 (0.13)	34 (0.07)	3 (0.38)	84 (0.18)	
計 (小児科定点当たり人数)	140 (38.00)	477 (47.28)	914 (60.50)	241 (53.13)	107 (31.75)	357 (47.63)	2,236 (50.40)		178,901	5,762 (135.18)	370,455	
前週 (小児科定点当たり人数)	104 (31.00)	363 (37.34)	646 (43.89)	186 (43.07)	73 (23.00)	392 (53.65)		1,764 (41.21)				

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関)定点当たり人数

第4週

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(3週)	高知県(4週末累計) H29/1/2～H29/1/29	全国(3週末累計) H29/1/2～H29/1/22
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多					
小児科	インフルエンザ	32.00	36.27	48.88	40.80	21.75	39.63	39.94	28.75	28.66	93.15	54.57
	咽頭結膜熱		0.14	0.09				0.07	0.07	0.30	0.47	0.90
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.00	1.73	2.67	2.50	0.80	1.43	1.60	1.99	5.37	4.50
	感染性胃腸炎	4.50	7.86	8.18	8.33	7.00	6.00	7.43	8.70	7.00	27.83	18.83
	水痘		0.71	0.27	0.67		0.60	0.43	0.33	0.35	2.40	1.35
	手足口病			0.18				0.07	0.13	0.22	0.33	0.52
	伝染性紅斑		0.29	0.27				0.17	0.33	0.11	0.70	0.29
	突発性発疹		0.29	0.27	0.33	0.50		0.23	0.17	0.41	0.97	1.06
	百日咳				0.33			0.03		0.01	0.13	0.02
	ヘルパンギーナ									0.03		0.09
	流行性耳下腺炎		0.43	0.36			0.20	0.27	0.30	0.59	1.10	2.28
	RSウイルス感染症	1.50	0.29	0.27			0.40	0.33	0.83	0.38	2.73	1.20
	眼科	急性出血性結膜炎								0.01		0.04
		流行性角結膜炎							1.00	0.55	1.33	1.72
基幹	細菌性髄膜炎								0.02	0.13	0.05	
	無菌性髄膜炎								0.03		0.09	
	マイコプラズマ肺炎		1.00	0.60				0.50	0.63	0.62	2.50	2.02
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			0.20				0.13	0.13	0.01	0.25	0.04
	感染性胃腸炎								0.13	0.07	0.38	0.18
計 (小児科定点当たり人数)	38.00	47.28	60.50	53.13	31.75	47.63	50.40			135.18		
前週 (小児科定点当たり人数)	31.00	37.34	43.89	43.07	23.00	53.65		41.21				

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869